

あいの風とやま鉄道 福岡駅エレベーター設置に向けて

お年寄りから障害を持たれた方まで、全ての人が利用しやすい福岡駅へ！



福岡駅に行きど様な問題があるのか動画で説明しています
下記QRコードから



能越道福岡PA スマートインター化に向けて

能越道の利用性向上と福岡地域発展の為、福岡PAのスマートインター化を！



令和2年11月5日
自民党県連政務調査会
福岡駅と福岡PAの
2ヶ所を現場視察して
いただきました。



YouTube川島国ちゃんねる

チャンネル登録
お願いします



花には水を人には愛を

公式LINEアカウントを開設しました！

皆様のご要望やご意見をお知らせいただければ幸いです。
私の活動をリアルタイムで発信できるように努めてまいります。
右記QRコードから友達追加をお願い致します。



来て良し！住んで良し！育てて良し！の富山県実現に向けて誠を尽くします。

川島 国

2021 新年号 県政報告
発行者 富山県議会議員 川島 国

歴史的な富山県知事選挙により、「変えていこう！富山県」という多くの民意が集い、新しく新田県政が誕生しました。

高岡市政では、高橋市長が今期で退任を表明され、まぎれもなく激動の令和時代が幕開けしております。

4期16年間に富山県の発展と県民の幸せのために尽力いただいた石井隆一前知事と3期12年間に高岡市に尽くしてこられた高橋市長に心より敬意と感謝を申し上げます。
逃げられない重い責任の中、県民市民の幸せのために懸命に知恵と汗を絞り頑張ってきた姿に、多くの学びもいただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

今回の県政レポートにおいては、新しい新田県政における最初の富山県議会での質疑を中心に、YouTube動画配信へのアクセス（QRコード）も添付し、少しでも解りやすくという想いで編集いたしました。

皆様におかれましては、新しい時代の幕開けに、この県政レポートを通じて政治に関心を深め、共にふるさと富山をより良くしていくためにご意見ご感想いただければ幸いに存じます。

皆様のご健勝ご多幸を願い、素晴らしい年と成りますこと心より祈念申し上げます。
以上、よろしくお願いします。

【県議会における所属委員会・部会・議員連盟・調査会等】

【自民党・部会】

- ◆自民党富山県連政務調査会副会長
- ◆企画財務部会 部会長

【県議会委員会】

- ◆議会運営常任委員会委員
- ◆厚生環境常任委員会委員
- ◆総合交通・県土強靱化特別委員会委員

【自民党調査会】

- ◆消防調査会
- ◆雇用問題調査会
- ◆農業問題調査会
- ◆医療問題調査会
- ◆水産問題調査会
- ◆薬業問題調査会
- ◆中山間地域振興調査会
- ◆私学教育調査会
- ◆消防調査会

【議員連盟・自民党】

- ◆商工会議員連盟
- ◆自衛隊支援議員連盟
- ◆県西部地域産業活性化議員協議会
- ◆ボーイスカウト議員連盟
- ◆オイスカ議員連盟
- ◆日露友好議員連盟
- ◆看護議員連盟
- ◆宅建議員連盟

【議員連盟・超党派】

- ◆スポーツ振興議員連盟
- ◆山村振興議員連盟
- ◆砂防促進議員連盟
- ◆拉致議員連盟「救う会」
- ◆観光振興議員連盟
- ◆日台友好議員連盟
- ◆日中友好議員連盟

【あなたのご意見・ご要望をお待ちしております】

富山県議会議員 川島国事務所
〒939-0116
富山県高岡市福岡町下蓑2243-1
TEL 0766-64-1192
FAX 0766-64-1193
email info@kawashimakuni.com

川島 国ホームページ
kawashimakuni.com

スマートフォン
から見れます！



出張・相談中！
出張・相談中！





新田知事の基本的政治姿勢



新田知事の基本的政治姿勢について(1)

地方自治の確立などの観点から、憲法改正についてどのように考え、改正議論にどのようにかわっていく考えか、また、県民の命と安全が侵害し続けられている北朝鮮による拉致問題にどのような方針で取り組むのか。



新田知事の基本的政治姿勢について(2)

スピーディな県政を実現するに当たり、特に新型コロナウイルス感染症対策における経済対策には、日本一スピーディな対応を目指すとのことだが、具体的にはどのような経済支援策に取り組んでいくのか。



川島議員には、県の再起支援補助金も活用し、料理の宅配事業「食の福袋」を企画・実施されるなど、地元事業者を積極的に支援しておられるほか、先般は、LINEアプリ活用の拡充についてご提案をいただき、感謝申しあげる。

全国的に新型コロナの第三波ともいえる状況が到来する中で、深刻な影響を受けている事業者をスピーディに支援する必要がある。そのためには、県内の中小・小規模事業者の状況を市町村や関係団体の協力を得ながら的確に把握し、資金繰り支援や新たな取り組みへの助成などの必要な支援を、オンライン申請など事業者目線で利用しやすいように制度設計し、事業者に周知して利用いただくことが必要だと考えている。オンラインシステム、申請から受付までオンラインで動いていく、ネットでの受付は今でもできるが、受け付けた我々が紙で対応している、これをオンラインでなされるようにしたい。

現在、国において取りまとめ中の経済対策には、3年間実質無利子・無担保の制度融資「新型コロナウイルス感染症対応資金」の来年3月末までの延長等が盛り込まれるとの報道がある。引き続き、国の動向も注視しながら、県内における新型コロナの感染状況や経済状況等によっては、県議会の皆様ともよく相談して、場合によっては来年度予算案の編成を待たず、新たな支援制度などを財源を検討しながらスピード感をもって実施したいと考えている。



憲法施行以来73年が経過し、社会経済情勢等も大きく変化する中で、自民党を中心に憲法改正に向けた議論が進められていると承知している。

例えば、今私たちは県民あげてコロナ禍で戦っているが、憲法制定施行時には想定されていなかった。今のコロナとの戦いは特別措置法という大きな枠組みに基づいて多くのことが地域の実情をみた都道府県知事の判断にゆだねられている面がある、例えばこのような都道府県という広域的な自治体の役割と市町村という住民の身近でサービスを行う基礎的自治体という役割を憲法に明記することは必要だと考える。

私の公約で教育にも触れているが、憲法施行時には少子化が想定されておらず、経済の格差が教育の格差につながるということもあまり想定されていない、今の状況に応じた教育の重要性を明記することも必要、様々な論点があるが、主権者たる国民の中に議論が高まり改正に向けた機運が高まれば、全国知事会とも連携し、地方の立場から私としても議論に参画していくことが必要。

北朝鮮による拉致問題は、発生から40年以上の年月が経過しているが、多くの被害者の帰国は実現しておらず、一方で被害者の家族の高齢化が進むということ、ある意味では拉致問題の象徴的な方であった横田しげるさんもつい先日他界された。このようなことはとても遺憾である。県内でも拉致の可能性を排除できない行方不明者が20名おられ、今も続いている極めて重要な問題である。政府には問題解決のため、国際社会と連携しながら外交努力に全力を挙げ、拉致被害者家族の皆様の切実な気持ちに是非応えていただきたい。

県としても拉致問題の解決を促進するため、明後日6日には県地方議員連盟及び関係団体との共催により講演会を開催し、私も出席させていただく予定である。また、10日からは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に併せてパネル展を開催する。こうした取り組みを通じ、多くの県民の皆様に関心と理解を深めていただき、拉致の一刻も早い解決に向け、政府の取り組みを後押ししてまいりたい。



ワクワクする富山県の実現



ワクワクする富山県の実現について

世界中から本県への観光誘客や移住を促進するため、とやまJAMP構想の具現化へ向けて、知事に一緒に取り組んでいただきたいと考えるがどうか。

USJ、ディズニーランド級の世界で唯一の日本アニメ・漫画に特化したテーマパークを誘致する「とやまJAMP構想」に取り組むことで、世界の子供達に夢を与える富山県の創造に繋がると考える。



本県では、国内はもとより海外でも人気の高いアニメ、漫画などが数多く生み出されている。例えば、高岡市では「藤子・F・不二雄」さん、氷見市では「藤子不二雄A」さんの漫画を活用したまちづくり、南砺市においても、「南砺市クリエイタープラザ 桜クリエ」においてアニメなどのコンテンツ制作、八尾を含む富山市などの県内の様々な市町村でアニメや漫画を活用したまちづくりが行われていることは、本当に子供だけではなく大人にとってもうきうきわくわくする話。

ご提案の「とやまJAMP構想」については、日本のみならず、世界の子供達にも夢を与えるワクワクするご提案だと感じた。

私は屋外の大規模なテーマパークのイメージと受けとめているが、私は屋外の大規模なテーマパークではないが、ゴルフ場を経営した経験があり、北陸で屋外の大規模な施設の運営が厳しいということをもっと体験した、そのことを一つ経験として申し上げたい。私はこのアニメや漫画などのコンテンツの活用という意味では屋外の大規模なリアルなテーマパークというやり方もあるが、バーチャルになじむコンテンツとっており、5G技術も大いに活用し、例えば、今点で散在しているコンテンツをデジタル技術を使い屋内の場所でみられる工夫は、今や簡単にできる、そんな道も構想の具現化のやり方として、リアルの大規模なテーマパークの考え方とともに屋内のそう大きくない、デジタルを活用しての見せ方、体験の仕方も大いに考えられる。

例えば、今も本当に小規模であるが文学館に県内出身の漫画家のコンテンツが展示されているが、それを拡充するとか、富山県美術館、好評だが、企画展を折に触れて開催するという方法も考えられるのではないかと、漫画やアニメはそれぞれに思い入れがあるもの必ずしもすべてを一同にみられるのをすべての人が望んでいるかというところはまた議論のあるところ、結構自分推しのキャラ、アニメ、大好きな方が多いのではないかと拝察している。このようなコレクター、ファンの皆様の嗜好の在り方も考えながら具現化に川島議員が一步一步近づかれることを期待しているところ。研究や勉強を県庁としてやっていくことはやぶさかではない



中山間地域の持続可能な地域社会の形成



中山間地域の持続可能な地域社会の形成について

政策集にある中山間地域を支える人材の育成・支援・交流の促進についてはデジタルテクノロジーを活用して進めていくとあるが、具体的にどのような施策を講じるのか、目指すべき中山間地域の将来像と併せて、問う。



中山間地域は多くのエリアが厳しい状況であることを考えると、最新のデジタルテクノロジーの活用も大切である。

そのため、今年度新たに、CATV事業者と連携して、農作物のデータを高精細カメラを用いてAIで画像分析し、ブドウを想定しているが、収穫に適した時期の判定等を行う取り組み、ブドウが熟成し、いつ摘み取るかの判断が可能や、ローカル5GやAIといった新しい技術を活用して、有害鳥獣の画像の伝送、鳥獣の種別や位置の判定、無人の機械による追い払い等を行い、農作物の被害を防ぐ取り組みを支援している。技術は実装できるところにきているので、どう使うか、知恵の使いどころ。

さらに、デジタルテクノロジーの活用を一層推進して地域活性化を図るため、健康な生活の支援に向けて、現在国で議論されているオンライン診療の動きに注視し、適時適切に関係医療機関に対して情報提供や活用・拡充に向けて意見交換等を行ってまいりたい。交通分野では、「ノックルあさひまち」、朝日町の取り組み、ラストワンマイルの確保の仕組みを支援しており、中山間地の最後の足の確保に努めてまいりたい。さらに、例えば、ドローンやAIなどを活用し、郵便物や物品の配送の可能性について民間企業との連携を進めていきたいと考えている。

県としては、中山間地域において、デジタル技術も活用しながら、住民一人ひとりが、自らの個性や能力を発揮しながら、ともに支えあう、中山間地域だけでなく町に住む人もお互いに支えあう持続可能な地域社会の創造に地元市町とともに努力してまいりたい。議員指摘の適した特区の活用もあれば検討してまいりたい。

